

# 那賀町議会から お知らせ



那賀町議会：ホームページアドレス  
<http://www.town.tokushima-naka.lg.jp/gikai/>

## 令和3年12月定例会議

### 一般質問から

主な質問とこれに対する長や関係課等の

答弁の要旨は次のとおりです。

一般質問をすぐに視聴したい方は、議会中継  
または議会後に放送される録画放送をご覧ください。



### 野口穂議員

#### 町長の資質、特に責任感について

Q 過去に町長及び町行政に多くの不正・失政及び職員  
の服務事故があったが、これらのことを踏まえ、町  
長は自らの責任感をどのように思われているか。

#### 坂口博文町長

A 町行政・職員の不正に対する責任については全て  
ご満足いただける評価になるとは思っていないが、職  
員は公務員としての基本である、憲法・地方自治法・  
地方公務員法に定められた、全体の奉仕者を基本に職  
務に専念する義務、そして住民福祉の増進に努め、最  
小の経費で最大の効果を発揮できるようにしなければ  
ならない。そのことを逸脱し、不祥事が起きた場合  
には規定により訓告、厳重注意、懲戒処分に対応して  
いる。又監査体制を強化し、今後においても不正が発  
生しないよう最善を尽くしていく。

#### 町民の安全・安心、特に小見野々ダム の堆砂に伴う安全施策について

Q 小見野々ダムの堆砂による出原・助地区住民の不  
安解消策として、大雨時、木頭北川と日早（南川）の  
雨量情報を早期にケーブルテレビ等で発信すること  
をお願いしたい。

#### 西村俊克ケーブルテレビ課長

A 北川及び日早の雨量情報を放送することも過去  
に検討はしたが実施していない。雨量だけでなくダム  
の流入量、放流量等を総合的に判断的に確に避難情報

を伝達することが重要と考えている。



### 田村信幸議員

#### 最新のコロナワクチン接種状況につ いて。また、3回目接種に向けての準備・ 対応処置について

Q 12月よりコロナワクチン3回目接種が開始され  
ることだが、1回目予約混乱時の教訓をどのよう  
に活かすのか。また、町民の不安を払拭するため  
どのような運営方法改良を考えておられるか。

#### 坂口博文町長

A コロナウイルス感染防止にはワクチン接種が決  
め手ということで、早急に3回目の接種ができる体制  
を作っている。初回の混乱を教訓に医療機関等関係者  
の御理解と御協力をいただき早急にワクチン接種を  
進めていきたい。

#### 山脇孝彦新型コロナウイルス感染症対策室長

A 町民の方々に順次接種を希望する医療機関等の  
調査を行い、その希望の結果により接種希望者が、か  
かりつけ医で接種できるよう、接種する医療機関や日  
時について調整し、町民の方々へ文書により連絡する  
という方法を執っていく。

#### GIGAスクール構想8か月経過後の 活用状況と課題及びICT教育支援員 導入に向けての方向性について

Q 児童1人1台タブレットを配備する国のGIGA  
Aスクール構想導入後、8か月が経過しているが、現  
在の活用状況はいかに。そこからどのような課題が見  
えているか。また、モデル校の活動報告を見ると、円  
滑な学習にはICT教育支援員が不可欠な存在として  
いる。導入への方向性と処遇について伺いたい。

#### 福多士郎教育次長

A 学力学習状況調査のアンケート結果からも県内  
においてトップの活用状況である。実際に活用してい  
る中で多くの課題があるが、今後もGIGAスクール  
サポーターの指導助言をいただきながら対応してい  
きたい。

#### つるぎ町立半田病院における「電子カル テウイルス感染」事例が、本町病院及び 医療体制に及ぼす影響について

Q 10月末に電子カルテシステムが、身代金要求型ウ  
イルスに感染した半田病院の状況を踏まえ、万一、本  
町病院が同様のウイルスに感染した場合、どのような  
対処方法を考えておられるのか。

#### 坂口博文町長

A 今後の情報化、デジタル社会の構築においても、  
二重三重のバックアップ体制構築を検討していくこ

とが重要であると思っている。

#### 古富昭延上那賀病院事務長

A 委託業者への更なるセキュリティ強化要請、自前  
で外付けハードディスクを用意してのバックアップ、  
印刷したカルテをUSB等にPDFで保存し保管す  
ることを考えている。



### 吉田行雄議員

#### 長安口ダム及び小見野々ダムの堆砂除 去について

Q 長安口ダムの堆砂除去方法と、いつ頃まで続くの  
か。また小見野々ダムの今後の計画と堆砂除去方法に  
ついてもお聞きしたい。

#### 坂口博文町長

A 長安口ダムの堆砂除去については、現状の運搬方  
法とベルコン運搬とを併用して行うと聞いている。小  
見野々ダムについては、ダムの改良計画が決定次第、  
堆砂除去の方法も決まってくると思う。現在測量調査  
中であるが、今後土砂の捨て場確保を町としても検討  
していく。

#### 長安口ダム近辺の国道改良計画の、有無 について

Q 長安口ダム近辺の1.5車線を2車線にすること、立  
木を除いて見通しを良くすることを要望する。

#### 坂口博文町長

A 長安口ダム周辺の改良工事を含め195号線の改良  
工事については、期成同盟会において毎年要望してい  
るが、大規模な改良計画の見通しは現状ではない。立  
木等の伐採は所有者とお話をさせていただき検討す  
る。

#### 上田善浩建設課長

A 長安口ダム周辺の国道改良については、現在のと  
ころ具体的な計画はないと聞いているが、大型車の通  
行増による修繕箇所等については、道路管理者に対し  
て要望していきたい。



### 柏木岳議員

#### 町長の政治的立ち位置への心配につ いて

Q 知事と代議士が反目する中で、坂口町長は積極的

な応援姿勢を取ったが、今後の県との関係に支障はないのか。

坂口博文町長

A 今後の県（知事）との関係についてはどう判断されるかは分からないが、政治の世界自分なりの信念で対応してきたつもりである。特に特別交付税等の配分額については決定された時点で判断させていただく。

「事故が起きてからでは遅い」と本当に思っているかについて

Q 南川交差点の嵩上げ国道に歩道がないことで、議員、町長が現地調査に赴いたが、「元々歩道がなく、原形復旧が原則」という説明は適応力のない発言である。県に早急な対応を促していただきたい。

坂口博文町長

A 側道の完成後、早期に着工していただくよう県に要望していた。現在、道路整備課と協議をしていると聞いているので、できる限り早急に設置していただきたいとお願している。

救急搬送の方針に対する住民の不安について

Q 救急車が駆けつけてから容態の確認に時間を要し、病院への出発までに長時間掛かる事例を複数聞いている。出発まで時間を要することの説明と対策を伺いたい。

野田敏幸消防長

A 高齢者の救急搬送時は、医療関係者で運用している「みまもるくん」（以前の救急搬送情報等）の確認、現場で行わなければならない処置等は現場で、車内で搬送途上で可能なものは車内で実施することで現場滞在時間の短縮に努めるとともに、救急活動の質は維持するよう指導していく。



山崎篤史議員

2020年実施の国勢調査結果の考察について

Q 人口問題を論ずる上において、国勢調査の結果については、現実を受け止め考察をする必要があると考える。①交付金は減額されると予測しているか。また、どのくらいの減額を想定しているか。②那賀町各地域の持続可能性を高めるために、何が重要であると考えるか。

萬木幸男総務課長

A 令和2年国勢調査人口については、令和3年度普通交付税の算定から、測定単位として反映されている。ただし、その算定に当たっては「人口急減補正」が措置され、2千万円程度が減少している。「人口急減

補正」は継続して措置されており、急激な交付税の減少はないものと考えている。

新田尚輝相生支所長

A 少子高齢化がますます進んだと認識しているが、働く世代、子育て世代に住んでもらうために、好立地の住宅用地や賃貸住宅を整備すること、また子育て支援制度の充実が重要であると考えている。

吉田勢上那賀支所長

A 那賀町過疎地域持続的発展計画の将来人口目標を確保するには、各支所が将来人口確保の役割を実施することが重要であり、上那賀地区は施設の跡地利用で那賀町の人口を確保することを目指したい。

高石道徳木沢支所長

A 買い物支援、足対策等の事業を実施してきたが、今後もニーズに応じた施策を行うとともに、観光資源を活かした交流人口の増加による地域の活性化を図っていきたくと考えている。

要克孝木頭支所長

A 移住のハードルが下がっているので、那賀町の良いところを光らせる工夫が必要である。民間企業とも連携した形で人の呼び込みを行いながら、移住を促したい。

交流人口増加策について

Q 人口問題調査特別委員会において、参考人として招致した中西参議院議員は、地方の人口維持には「交流人口の増加」がキーワードになると話されていた。本町の交流人口増加施策をお伝えいただきたい。

峯田繁廣副町長

A 人口の増加策には、仕事や観光などでの交流人口の増加策、地域へ多様な関わりを持つ関係人口の増加施策なども最近では提唱されている。那賀町では第二期那賀町まち・ひと・しごと創生総合戦略により、各部署で人口増加策を進めている。本日は交流人口の増加施策を担う2つの課の主な施策について、各課長が述べさせていただく。

幾田博行にぎわい推進課長

A 観光を中心に行っており、町内、各地区でのイベント補助金を支出し交流人口の増加。SNS等での情報発信。国土交通省那賀川河川事務所と長安ロダム周辺整備。徳島県企業局と川口ダム周辺整備。今年度のエキサマはCS放送とYouTube配信を行った。今後は官民一体となり、交流人口増加につながるように取り組んでいきたい。

三好俊明まち・ひと・しごと戦略課長

A 「空撮コンテスト」の開催、「シェアオフィス・シェアハウス」の整備、「移住交流推進事業・動画配信事業」等を実施している。



新居敏弘議員

国保税における子供の均等割り減免について

Q 来年度より、公費による就学前の子供の均等割りから軽減となる。那賀町として軽減対象年齢の拡大や就学前の子供は免除とするなどの考えはないか。またそうした場合、町の上乗せ分に係る町費はいくら必要か。もし国のペナルティがあるとすれば、その影響額はいくらか。

湯浅正恵税務保険課長

A 18歳までの均等割全額免除の費用は約107万円で、本来被保険者負担である。これを一般会計からの繰入金で実施するとペナルティとなり、国からの交付金が減額される。金額は色々な要素があり一概には計算できないが、最低でも50万円程度の減額となる。現時点で軽減拡大は考えていない。

米価の下落、重油高騰による農業支援について

Q 米価の下落、重油高騰に対し国として一定の対策があるが、町としても農家に対する支援が必要かと思われる。町として、農家への現状把握をしているか。さらに、支援策についてどのように考えられているか。また新聞報道等で臨時交付金や特別交付税措置があるとのことだが、見込み額等について説明願いたい。そして、国に対し農家等への十分な支援の要請を行っているいただきたい。

後藤文峰農業振興課長

A 那賀町農家ではJA阿南に42名の方が約30トンの出荷をしている。買取価格の下落によって米農家の経営に影響を及ぼしているが、個人の顧客管理が多くを占めており、前年度とほぼ同額の取引価格で運用されている。行政による収入補填の直接支援を行った事はないが、支援の要請を行っていく。

「気候危機」に対する町としての取り組みについて

Q 地球温暖化、気候変動問題が言われて久しいが、町としてもCO2削減、再生可能エネルギーにより一層取り組んでいくべきと考える。若者やこれから産まれてくる子供達の未来の地球環境に大きく関わる「気候危機」に対しての町の考えや、どのように取り組むのか、お聞かせ願いたい。

坂口博文町長

A 適正に管理されている森林は1ヘクタール当たりのCO2吸収量は8トンといわれている。那賀町の6万6千ヘクタールの内全てが適正に管理できていないため、その7割として36千トン吸収されている。また5つの水力発電所で15万9千350キロワットが自然エネルギーで発電されている。那賀・海部で計画されている風力発電風車の50基分に相当する。よって森林の適正な管理と既存のダム管理を適正に行っていたり、国にお願いし、地球温暖化に貢献できる町として、国に対しても今後支援策を要望していきたい。